

CONTENTS

特集
Special Features

自然言語処理の高度化による 知的生産性の向上

Improvement of Intellectual Productivity by Advancement of Natural-Language Processing

1006 編集にあたって 辻井潤一・橋田浩一

Foreword Jun-ichi TSUJII (The Univ. of Tokyo) and Koiti HASIDA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

1007 知の共創のための自然言語処理技術－情報マネジメント技術を俯瞰する－ 亀井真一郎・田邊栄一・和泉憲明

Collaborative Knowledge Creation based on Natural Language Processing - Overview of Information Management and Its Technologies - Shin-ichiro KAMEI (NEC Corp.), Eiichi TANABE (Fuji Xerox Co., Ltd.) and Noriaki IZUMI (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

[自然言語処理技術による情報マネジメントの実際]

1012 機械翻訳システムによる知的活動の推進 畠中伸敏・平川秀樹

Knowledge Innovation by Machine Translation System Nobutoshi HATANAKA (Cannon Inc.) and Hideki HIRAKAWA (Toshiba Corp.)

1017 企業における情報共有の促進事例 浮川和宣・植松直也・鈴木 高・太田洋行

The Promotion Case of Information-sharing at Enterprise Kazunori UKIGAWA, Naoya UEMATSU, Takashi SUZUKI (Justsystem Corp.) and Hiroyuki OTA (Obayashi Corp.)

1022 企業における非定形文書の活用促進事例－営業日報へのテキスト分析技術の適用－

柴田親男・松田純一・小泉敦子・森本康嗣

An Application of Text Analysis Technology to Daily Business Reports Chikao SHIBATA, Junichi MATSUDA, Atsuko KOIZUMI and Yasutsugu MORIMOTO (Hitachi, Ltd.)

1028 企業におけるマーケティング分野でのテキスト活用事例

－ブランド・イメージ調査へのテキストマイニング技術の適用－ 豊田裕貴・森永 聡

Case Study of Text Data Utilization in Marketing Research - Application of Text Mining Techniques to Brand Image Analysis - Yuki TOYODA (Tama Univ.) and Satoshi MORINAGA (NEC Corp.)

1032 次世代の企業間協業・連携への支援事例

－文書ライフサイクルとコラボレーションへの自然言語処理の適用－ 横田 元・田邊栄一

Natural Language Processing Initiatives on the Enterprise Collaboration and Alliance - Perspectives from Document Lifecycle Management - Hajime YOKOTA and Eiichi TANABE (Fuji Xerox Co., Ltd.)

1037 自然言語処理技術の高度化はいかにして組織の競争力を生み出すのか

松井くにお・平川秀樹・梶 博行・植松直也

How can We Improve the Corporate Competitive Power using Advanced NLP Technologies? Kunio MATSUI (Fujitsu Labs. Ltd.), Hideki HIRAKAWA (Toshiba Corp.), Hiroyuki KAJI (Hitachi, Ltd.) and Naoya UEMATSU (Justsystem Corp.)

事例
Case Study**1058** 企業におけるナレッジマネジメントの実践－効果的なナレッジマネジメントの事例と考察－

桑原通江

Practicing Knowledge Management in NEC - Practical Examples and Examinations of Knowledge Management - Yukie KUWAHARA (NEC Corp.)

解説 Articles

- 1044** ボイスウェブの可能性－VoiceXML 概説－ 荒木雅弘
Potential of Voice Web - Outline of VoiceXML - Masahiro ARAKI (Kyoto Institute of Technology)
- 1052** アドホックネットワークが開く新しい世界 (前編) 小菅昌克・板谷聡子・Peter Davis・梅田英和
Ad hoc Networks : A New Frontier Masakatsu KOSUGA, Satoko ITAYA, Peter DAVIS (ATR Adaptive Communications Research Labs.) and Hidekazu UMEMA (Skyley Networks, Inc.)
- 1063** アジャイルなソフトウェア開発におけるモデリング 藤井 拓
Modeling Approaches in Agile Software Development Taku FUJII (OGIS-RI Co., Ltd.)

連載 Series

- 1069** 日本の情報処理技術の足跡 通産省と日本のコンピュータメーカ 高橋 茂
The Trail of the Information Processing Technology in Japan : MITI (Ministry of International Trade and Industry) and Japanese Computer Makers Shigeru TAKAHASHI (Katayanagi Institute)
- 1078** とつきよ Now ! DVD 規格とその関連特許について 岩崎伸二
Patent Now ! : DVD Specification and Related Patents Shinji IWASAKI (Japan Patent Office)
- 1082** プログラム・プロムナード 木の図示 寺田 実
Program Promenade : Diagram of Tree Minoru TERADA (The Univ. of Electro-Communications)

コラム Columns

- 1056** 日本のIT事情 ネットワーク社会とNPO 須藤 修
Information Technology in Japan : Network Society and NPO Osamu SUDO (The Univ. of Tokyo)
- 1087** 情報技術と教育 1800 時間 算 捷彦
Information Technology and Education : 1800 Hours - A Magic Number in JABEE Katsuhiko KAKEHI (Waseda Univ.)
- 1088** モバイルは今 認証付きメール送信 楯岡孝道
Mobile Technologies, Now : Mail Submitting with Authentication Takamichi TATEOKA (The Univ. of Electro-Communications)
- 1090** 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century
E. F. Codd : A Relational Model of Data for Large Shared Data Banks 弓場敏嗣
E. F. Codd : A Relational Model of Data for Large Shared Data Banks Toshitsugu YUBA (The Univ. of Electro-Communications)
- 1091** 20 世紀の名著名論 Prominent Books and Articles in the 20th Century
J. B. Dennis : First Version of a Data Flow Procedure Language 島田俊夫
J. B. Dennis : First Version of a Data Flow Procedure Language Toshio SHIMADA (Nagoya Univ.)
- 1092** アメリカITまわりの話題 米国IT産業は回復したか 藤崎哲之助
IT Topics in the US : Has US IT Recovered? Tetsu FUJISAKI (Collabo-Technology, Inc.)

- 会議レポート
Conference
Report
- 1096** HCI International 2003
1097 HOT Chips 15
1098 ACL 2003



- トピックス
Topics
- 1095** 電気・情報関連学会の連携推進状況について

その他

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1094 著者紹介一覧 | 1106 有料会告 |
| 1099 会誌「情報処理」45巻表紙 デザイン募集 | 1107 おふいすらん |
| 1100 会員の広場 | 1107 訂正 |
| 1102 IPSJ カレンダー | 1108 アンケート用紙 |
| 1104 人材募集 | 1109 編集室／次号予定目次 |
| | 1110 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |

編集系独白

特集は7本の記事を集めた「自然言語処理の高度化による知的生産性の向上」(エディタ田淵仁浩, ゲストエディタ辻井潤一, 橋田浩一)で, もともとは何か研究会のワークショップらしいが, エディタに無理をいい, 会誌用にまとめなおして貰った. これを読むと情報を氾濫させぬに如かずかと納得しつつも会誌を発行し続けるこの矛盾.

「ボイスウェブの可能性ーVoiceXML概説ー」(荒木雅弘)は最近流行りのウェブからの申込みなどを音声でやろうというものだ. 今や万人が所持する携帯電話の窓と押しボタンでやった方が楽なのではと編集子は思うがそうでもないのか. そういえば先日留守電にアンケートがきた. 再生すると「何々の時は1を押して」と空しい.

万人所持の携帯電話は一足さきにケーブルから独立した. 大体の場所で電波が来ていて接続できる. パソコンの方はイーサケーブルを引きずってきたが, 次第に無線LANが増えてきて, 自由になりつつある. 近くの適当な基地につなぎ, なにも気にせずに使おうというのが小菅昌克ほかの「アドホックネットワークが開く新しい世界 (前編)」である. ところでMobiHoc2004は日本開催. アドホックに決まったのではない.

横文字表題の記事が続いて恐縮だが, 藤井拓の「アジャイルなソフトウェア開発におけるモデリング」は思い立ったが吉日プログラミングというべきか. agile = quickらしい.

ITソリューション営業をサポートせんとする試み「企業におけるナレッジマネジメントの実践」を桑原通江が事例として書く. 似たようなプロジェクトは多々あれど, コンテンツを皆が進んで入力してくれるような環境を用意するのが成功への捷徑であろう.

名著名論は弓場敏嗣にCoddのRelational Data Modelを, また島田俊夫にDennisのData Flow Procedure Languageを書いて貰う. 4月号本欄にCoddの自己増殖の紹介があったばかりだが, Coddとしては, それは余技で, 本職はデータベース屋である.

日本のIT事情「ネットワーク社会とNPO」(須藤修)では電子地域通貨もNPOの手にかかるインパクトがありそうと知る. 地域通貨といえばその昔ハーバード大学計算機センターに計算時間予約のための通貨があり, なぜか円と呼ばれていた.

歴史の連載「通産省と日本のコンピュータメカ」(高橋茂)を読みながらはらはらす. かくも明白に失敗失敗と書いてもよいのか. 補助金が頂けるは結構だが, やはり砂漠に水を撒いていたような気がしてならぬ. 入れ知恵したはたそ.

停電でもニューヨーク近辺で起きると規模壮大だ. その経験をした藤崎哲之助からアメリカITまわりの話題「米国IT産業は回復したか」が来た. こういう市井の話題にもRFIDが当たり前に登場するようになった.

プロムナードは寺田実が「木の図示」を書く. かつこの入れ子で表現した簡単な木構造を分かりやすく図示する問題だ. コンテストの問題だけあって, 解を一義にせねばならず, その条件を決めるのに出題者は苦労したと思う.

突然ですが, ここでクエスチョンです. 大学生は4年間に大学で何時間勉強するでしょうか. 情報技術と教育で情報処理教育委員長寛捷彦がJABEEが固執する総学習保証時間「1800時間」を書いた. 1800時間を証明するのも難儀なのに, 2,3年前は2000時間が要求され, 2000時間問題としてアクレディテーション委員会では頭を抱えていた.

楯岡孝道のモバイルは今は「認証付きメール送信」だ. スпамをいかにして排除するか注力の様が偲ばれる. 狼の群の中で, 羊や山羊が手紙を送ったり食べたりしている図を想像す. それにしても最近のスパムはすごい. 掃溜めの中からメールを拾い出すが如し.

とつきよNow!は岩崎伸二の「DVD規格とその関連特許について」. DVD規格の特許戦略が具体的に述べてある. 企業連合の苦心, 特許庁での対応ぶりがよく分かる. (jrh)



会誌編集委員会

編集長

和田 英一

担当理事

丸山 宏

田中 穂積

本号エディタ

飯尾 淳

上野浩一郎

大川 茂樹

菊田 泰代

坂井 修一

田淵 仁浩

塚本 節男

辻井 潤一

橋田 浩一

前田 敦司

森川 直人

安信千津子

山崎 憲一

編集スタッフ

後路 啓子

湯本 祐子

綿谷 亜樹

■ 44巻10号掲載広告目次 (五十音順)

| | | | |
|----------------------|--------|----------------------|------|
| インタフェース..... | 前付2 | 日本データパシフィック..... | 表2 |
| エッチ・アイ・ティー | 表4 | 日本パーソナルコンピューター | 表2対向 |
| オーム社..... | 前付3 | 日本バイナリー..... | 前付7 |
| 科学技術振興機構..... | 目次前 | 培風館..... | 前付6下 |
| サイエンス社..... | 前付4, 5 | 連続セミナー2003..... | 表3 |
| ソフト・リサーチ・センター | 前付6上 | | |
| 日本システムアプリケーション | 前付最終 | | |

*掲載広告のカタログ・資料をご希望の方は, お名前, 電話番号, 勤務先または学校名を明記の上, E-mailまたはFaxにてご請求ください.

広告総代理店 (株) 精機通信社
E-mail: sei@ss-com.co.jp
Fax(03)3368-1519